

【 臨床研究に関する情報の公開 】

当院にて脳卒中の治療を受け、リハビリテーションを受けられた患者さまの試料・情報を用いた医学系研究に対するご協力のお願について

項 目	内 容
1. 研究課題名	当院脳卒中患者における回復期リハビリテーション病棟退院時帰結に関わる急性期リハビリテーションの因子の調査
2. 研究の対象者	2014年11月1日～2024年11月1日の期間、当院で脳卒中の治療を受け、当院回復期リハビリテーション病棟へ転科した患者さま
3. 研究期間	2025年4月18日 ～ 2025年12月31日
4. 研究実施体制と研究責任者	・研究者氏名 関西電力病院 リハビリテーション部 畑中將希 ・共同研究者 山本洋司1)、渡辺広希1)、成原徹1)、草田知也1)、小松良1)、浦邊順史1)、中元辰壽1)、恵飛須俊彦2) ・共同研究者の所属部署 1) 関西電力病院 リハビリテーション部 2) 関西電力病院 リハビリテーション科 ・共同研究機関、試料、情報提供先機関：なし
5. 本研究の意義・目的	急性期脳卒中後の早期離床は廃用症候群を予防し、機能的予後に寄与することから多くの治療ガイドラインで推奨されています。脳卒中急性期リハビリテーション診療の指針では、適切な離床時期は発症後24～48時間以内であると述べられている一方で、量や頻度ならびに強度が機能的予後に与える影響は不明な部分があります。良好な退院時機能的予後の獲得には一貫した治療概念に基づく脳卒中急性期リハビリテーションの提供が必要と考えており、当院は急性期病院に回復期リハビリテーション病棟を併設していますので、脳卒中患者さまの回復期リハビリテーション病棟退院時の帰結に関わる急性期リハビリテーションの量や頻度、強度、離床開始時期を調査し、それらの影響を明らかにすることを目的とします。
6. 研究の方法	本研究は後方視的研究です。診療録（カルテ）より、多発性骨髄腫の治療に関連する情報を収集し、統計学的に解析します。また、本研究により新たに患者さまにご負担いただくことはありません。
7. 研究に用いる試料・情報の種類	年齢、性別、Body Mass Index(BMI)、脳卒中発症因子（高血圧、糖尿病、脂質異常症、心房細動、虚血性心疾患、透析の有無）、在院日数、脳卒中発症日、入院中の主病名、病巣側、責任病巣、病前modified Rankin Scale（mRS）、発症時の脳卒中神経学的重症度スケール（National Institutes of Health Stroke Scale：NIHSS）、脳卒中既往、医学的治療、機能的自立度評価表（Functional Independence Measure：FIM）、実用的歩行能力評価分類（Functional Ambulation Categories：FAC）、mRS、基本動作評価表（Ability for Basic Movement Scale 2：ABMS II）
8. 試料・情報の保管方法と廃棄方法	診療録（カルテ）より、本研究で解析する必要な情報を抽出します。抽出した情報は個人が特定できないよう管理番号を付し、匿名化、必要な情報のみ抽出するよう加工した上で、施錠可能な部屋内のパソコンを用い、パソコン本体及び解析に用いる電子ファイルへそれぞれ異なるパスワードを設定し、厳重に管理します。不要となったデータは、完全に廃棄・削除したことを複数名にて確認します。
9. 個人情報の保護について	情報収集には、診療IDや患者識別コード等を用いることで匿名化されています。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者へ知られたりすることはありません。研究にご自身の臨床データや試料を提供したくない場合は、11. 問い合わせ・苦情等の窓口へお申し出ください。お申し出いただいても、診療等に不利益が生じることはありません。
10. 情報管理責任者	関西電力病院 リハビリテーション部 山本 洋司
11. 問い合わせ・苦情等の窓口	〒553-0003 大阪市福島区福島2丁目1番7号 関西電力病院 リハビリテーション部 畑中 將希 電話：06-6458-5821（代表）